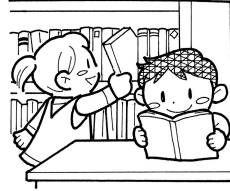


# 図書だより



平成31年1月18日

担当 山本 尚美

No.15

## ファミリー読書の感想です No.4

ファミリー読書についての感想、たくさんありがとうございます。今回は4年生の保護者の皆さんのコメントです。

言葉の使い方が巧みであり、またマイナスからプラスへ転換する流れが印象的でした。何事も前向きにとらえる考え方が重要であるとあらためて感じました。(へんしんおんせん) お父さんの読み聞かせでした。

道徳の本を読みました。主人公の心の中が罪悪感でいっぱいだった時に猫に魚を盗られたこと、猫の飼い主が謝りに来たことで本人も勇気を出して謝りに行けたことなど、とてもいい話でした。息子も正直にまっすぐな心で大きくなってもらいたいです。(まどガラスと魚)

「かがみの国のアリス」と聞くときれいなお姫様のかわいい話というイメージでしたが、大人になって読んでみると、全然違うとらえ方で読みました。子どもの頃からあった本を大人になって読んでみると、また違ったおもしろさがあると感じました。(かがみの国のアリス)

下の子用の本でも、内容は幅広い年齢が対象なので、読んでみました。いもとようこさんの優しく温かな絵と包み込むような言葉に癒やされます。(まいにちがプレゼント)

友だちみんなと協力しながらメダカのことを助けるところがすてきでした。そらまめくんの優しさを感じ、心がぼかぼか温かい気持ちになりました。このシリーズの本は親子で大好きです。(そらまめくんとめだかのこ)

子どもがすっかりはまったかいけつゾロリ。作者にレターメールを送るほど好きで、だじゃれや親父ギャグも上達しました。今回もはちゃめちな話で、ゾロリの頭の回転のよさやどんなピンチも、アイディアと行動力で乗り切る姿に大人でも感心します。ずるいこともするけどゾロリの登場人物はみんないい奴なので親子で愛情持って楽しみながら読みました。(かいけつゾロリ)

私が子どもの頃は、毎晩のようにTVで時代劇をしていたので、江戸時代の様子が知らずと頭に入ってしまうのですが今の子どもは違います。それでも「コックさんが江戸時代にはいないよね。」なんて話しながら楽しく読みました。モンシロチョウがモウチョウ炎につながっている言葉遊びもおもしろいところでした。(伊賀のキャベ丸)

娘が小さい頃購入した本で何度も読みました。久しぶりに読んで気づいたことは、主人公のサツキが娘と同じ4年生だったこと、小さい頃読んでいたときはメイ(4才)の視点で見ていたことがサツキと同じ年になりまた違った見方で物語を読みました。夢があってわくわくする場面がたくさん出てきます。(となりのトトロ)

私が推理が好きなので図書館から借りてきてくれました。推理しながら楽しんで読みましたが、まさかの「馬」が登場しておもしろい本でした。(あしたからは名探偵)

4年生では、何度も読んでいるお気に入りの本があるのがすてきですね。

次回は5年生です。